

今年の実りを「決算」で見てみよう！

令和7年度  
決算額 **422億円**

どう  
使われた？

決算特集  
たいむ、

ザ・議会視点  
令和7年度  
市のお金の  
使い方

令和7年度における小美玉市の総決算額は約422億円でした。  
そのうち一般会計の支出は271億566万円で当初予算から約6億9,000万  
円の増加となりました。収入は市税やふるさと応援寄附金、地方交付税などの  
増加により前年度と比べ約14億7,000万円の増加となりました。

## Pick UP! 議会の注目事業

### くらし 住宅取得の一部を助成 940万円

若年世帯や小美玉市へ移住する方の  
住宅取得費用の一部を助成することで、  
人口減少の抑制と地域の活性化を図っ  
ています



### 子育て 子育て世帯の医療費を 補助 1億3,114万円

小児・妊産婦・ひとり親家庭の方が  
医療保険で受診した際の費用を一部又  
は全部助成し、経済的負担の軽減を図  
りました。



### 高齢者 敬老会事業 1,783万円

高齢者の長年の社会貢献に対し、感  
謝と敬老の意を表し、市民自らが福祉  
に対する理解と協力を深めました。



### 防犯 防犯施設を整備 1,539万円

犯罪防止と事件・事故の防止を目的  
に、防犯カメラや防犯灯を設置し、地  
域防犯力の推進を図りました。



### 畜産 高騰する畜産飼料へ 購入支援 1,905万円

牛が食べる飼料（干し草）の高騰に  
伴い、購入支援金を支出することで  
畜産経営の負担軽減を図りました。



### 教育 旧キャトル・セゾンを 改修 6,743万円

旧キャトル・セゾンを改修し、子ども  
の新たな居場所として整備しました。







妊産婦タクシー  
については  
こちら  
(市HP)



ALT 英語  
については  
こちら  
(市HP)

## 利用低迷、制度周知を

### 出産・子育て応援事業

妊産婦タクシー利用補助金  
(1万円)

妊産婦が妊産婦健診・出産等で医療機関へタクシーで通院する場合の運賃に対して支払う補助金

Q 妊産婦タクシー利用補助金の当初予算25万円に対し、決算額は1万円で執行率4%だった。評価と分析を伺う。

A 妊産婦タクシーの執行率は4%で申請件数は1件だった。妊娠届出時に制度の内容などについて説明はしているが、利用が少ない状況となっている。必要な方へ支援ができるよう、今後も引き続き、妊娠届出時には丁寧な説明を行い、利用促進に努めていく。



妊産婦の健診や出産時の通院を支えるタクシー利用補助制度

## 決算に関する主な質疑 ALT活用で英語力向上

### 語学指導経費

外国語指導助手派遣業務委託料  
(6,105万円)

市内小・中学校、市立幼稚園にALT(外国語指導助手)を派遣し、英語教育の充実を図るもの

Q この事業により、児童生徒の英語力がどの程度向上したのか伺う。

A 全ての外国語や英語の授業では、毎時間ALTを活用した授業を行うだけでなく、外国とのオンラインブレンドディッド授業やプレゼンテーションフォーラムの指導、台湾交流の際の支援、教職員の英語研修等、様々な場面でALTを活用した。

その結果、令和7年度の中学3年生のCEFR A1レベル(英検3級)相当の英語力を有する生徒の割合は59.3%で前年度より3.9%向上した。



ALTとの対話や交流を取り入れて実践的な英語力を育む授業

### 妊産婦タクシー

市内や近隣に出産可能な医院はなく、陣痛時などの肝心な時は使用できない。おむつ券など経済的な支援をいただければいいと思います。

20代・女性(小川)



### 外国語指導助手派遣業務

グローバル化の現在、英語力向上は重要で、ALTは必要不可欠。教育の原点に戻り、活用方法を工夫し、学習意欲の向上につなげることを願います。

こばやし よしはる  
小林 義治さん(東平)



# ザ・議会視点 令和7年度 市のお金の 使い方



プレミアム商品券  
については  
こちら  
(市HP)



国際交流  
については  
こちら  
(市HP)

## 商品券のデジタル化へ

### 元気再生プレミアム商品券発行事業 補助金

(4,700万円)

市内の個人消費の喚起や市商業の振興と活性化を図るもの。

Q プレミアム商品券のデジタル化に向けた進捗を伺う。  
A 現在、電子決済キャリア（PayPayやNTTなど）への聞き取り調査及び、近隣市町におけるデジタル化の移行状況に関する調査を実施している。  
併せて、商品券購入者を対象にデジタル化に関するアンケート調査を行っている。これらの調査結果を踏まえ、令和9年度の実施に向けて、一部試験的な導入を前提に商工会と協議を進める。



市内での買い物を後押しし、地域の商業活性化につなげる商品券

## 国際交流の推進

### 国際交流活動事業

(776万円)

国際交流ひろばなどの事業を開催し、市民に対し国際交流への理解と国際感覚の育成を図るもの

Q 年々増加する市内在住外国人との共生に関してどのように対応していく考えか伺う。  
A 年々増加する外国人住民との共生に向け、生活に必要な情報の多言語化や日本語学習支援を進めていく。また、日本語教室や国際交流イベントなどを通じて、外国人住民と地域住民が交流できる機会の充実を図る。また、地域活性化起業人との連携や多言語翻訳機を有効に活用し、県・国の支援も得ながら、外国人住民が地域の一員として安心して暮らせる環境づくりを進める。



日本語教室や交流の場を通じて、外国人住民と地域とのつながりを育む

### プレミアム商品券

利用者の利便性向上が期待できる取組であり、アンケート結果を反映し、着実にデジタル化を進めてほしいです。

すずき ひろあき  
鈴木 裕明さん（堅倉）



### 国際交流活動事業

決算を踏まえて国際交流の現場の現状に即したメリハリをつけた予算を組んで欲しいと思います。

ぐんじ まちこ  
郡司 真知子さん（本田町）

